

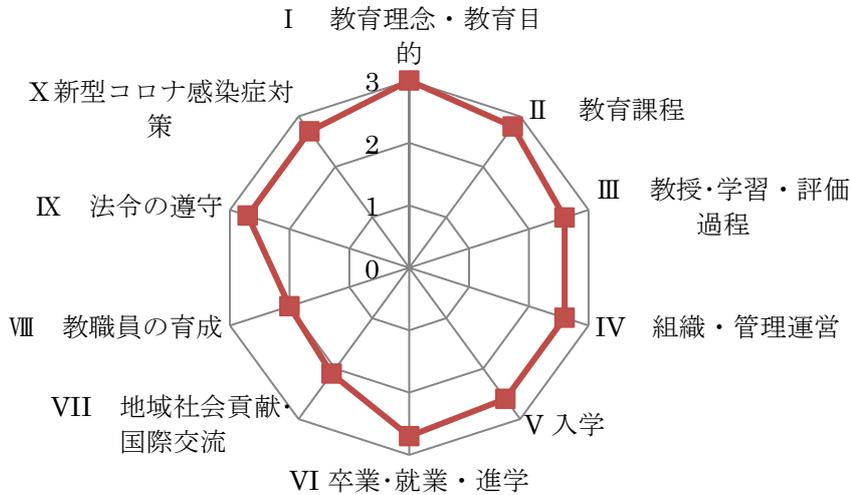
令和2年度 自己点検・自己評価結果 (令和3年3月実施)

JCHO 東京山手メディカルセンター附属看護専門学校

独立行政法人地域医療機能推進機構（以下 JCHO）の5看護専門学校において、共通した学校評価ガイドライン、JCHO看護学校の自己評価表に基づき自己点検・自己評価を実施しました。尚、令和2年度は、Xその他の項目(学校独自で設定して良い項目)に新型コロナウイルス感染症対策について評価する項目を設けました。その結果について公表いたします。本校の教育活動その他の運営状況について客観的に評価を行い、よい面はさらに伸ばし、また改善すべき点は明確にしていきたいと思います。令和2年度の総合評価の平均点は2.6点で、評価尺度に照らしてみると「概ね当てはまっている」でした。地域医療に貢献ができる看護師の教育に力を入れ、常に学生とともに向上できる学校を目指し今後も努力いたします。

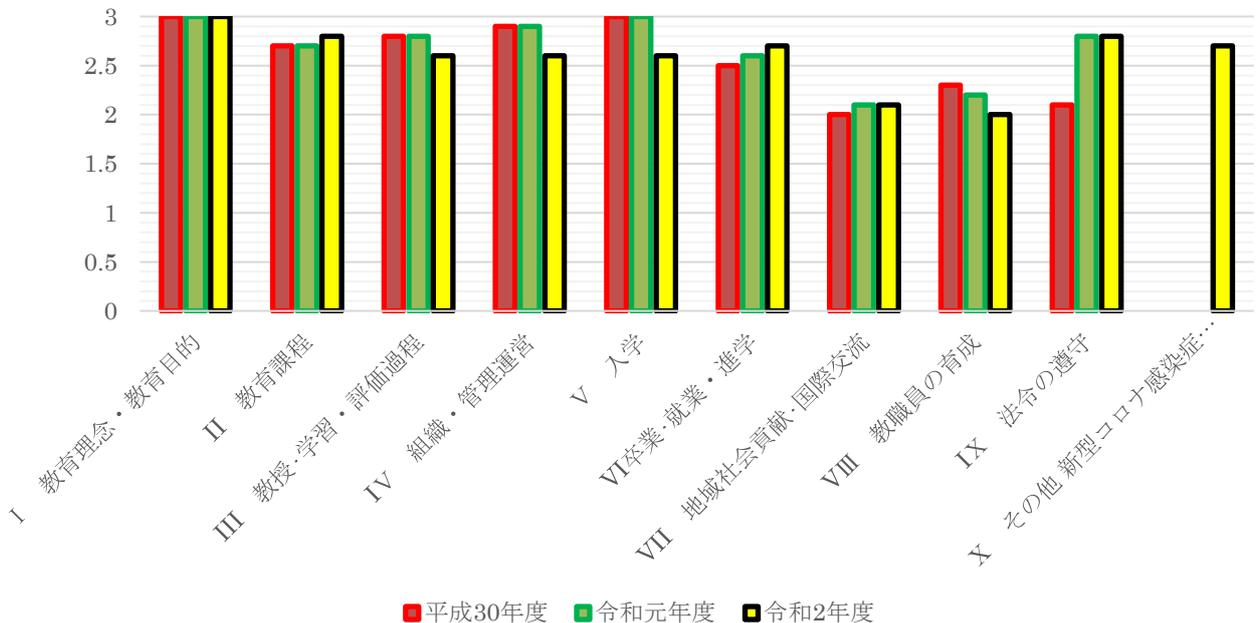
自己点検・自己評価(令和2年度)

総合平均点
R2年度 2.6点



0 : 当てはまらない 1 : 一部当てはまる 2 : 概ね当てはまる 3 : 十分当てはまる

大項目 年次推移



カテゴリー	分析・課題
I 教育理念・教育目的 3.0 点	<p>教育理念・教育目的に基づいた学年別学級運営方針を年度初めに明示しています。また、地域医療機能推進機構の理念でもある地域医療、地域包括ケアの担い手として社会のニーズに対応できる看護実践者の育成を目指すことをあげ、組織を意識し、教育過程全体にいき渡るようにしていきます。</p>
II 教育課程 2.8 点	<p>毎年見直しを行い、検討しています。教員全員で講義や校内演習の指導案の検討をし、教授内容の共通認識をするとともに、担当を超えて学ぶことができるようにしています。学生による授業評価を担当講師にフィードバックし次年度の講義内容・方法の検討に活用しています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、6月からの始業となりましたが、様々な教育方法を取り入れること、感染予防対策を確実にを行い、計画通りに講義・実習を終えることが出来ました。</p>
III 教授・学習・評価過程 2.6 点	<p>講義と実習が連動するように配慮し、教育計画を立案しています。令和2年度は、評価の計画性・公平性に取り組みました。評価の基準が明確になるよう学生に示し、自己評価や自己学習に活用できるように今後も取り組んでいきます。</p>
IV 組織・管理運営 2.6 点	<p>学生の学習サポートとして、個別支援、クラス全体支援と二つの側面からサポートいたしました。今後も少人数制の利点を活かした支援を考えていきます。</p> <p>学生の心身両面の健康サポートとしては、学生カウンセラーの協力を得て支援できる体制をとっております。また、保護者の方にも必要に応じて連絡を取り合っています。令和2年度はオンラインでのカウンセリングを実施いたしました。また、保護者会もオンラインで開催を実施いたしました。</p> <p>経済的な支援としては、各種奨学金制度、日本学生支援機構授業料無償化の制度の活用、新型コロナウイルス感染症により収入が減少した学生への支援手続きを行いました。</p>
V 入学 2.6 点	<p>入学生確保については、ホームページやSNSの充実に力を入れました。定期的な更新、ほぼ毎日のFacebookの投稿、vimeoを活用した動画による学校案内などの活動です。またオンラインでの学校案内、在校生との交流会を実施しました。来校型オープンキャンパスは、来校人数を制限し、感染予防対策を徹底して感染者が比較的減少していた夏季休暇中に実施しました。公開講座と技術体験の内容でしたが、興味を持っていただくことが出来ました。しかしながら、高校訪問や学校説明会への参加などができませんでした。令和3年度は、高校へのPR活動に注力していきます。</p>

<p>VI 卒業・就業・進学 2.7 点</p>	<p>就職に関しては東京山手メディカルセンターへの就職率が 88%となっており、ほぼ大半を占めました。学校と母体病院との良好な関係性や、臨地実習で親切できめ細やかな指導を受けられたことが要因だと考えます。今後も学生の希望や個性にあわせて就職支援に取り組んでまいります。</p>
<p>VII 地域社会貢献・国際交流 2.1 点</p>	<p>令和2年度は、ボランティア活動自体が難しく、積極的に参加することが出来ませんでした。出来ることを見つけて、社会へ貢献する基礎を築き上げる一助になるよう心がけます。</p>
<p>VIII 教職員の育成 2.0 点</p>	<p>講義や実習指導に対しての準備のための教材研究時間を確保することが質の高い教育につながります。今後とも教職員相互の支援体制を整えてまいります。令和2年度研修会のほとんどがオンライン形式でした。カリキュラム改正に向けた取り組みなど、興味のある研修会への参加をすることが出来ました。学びを学生の支援に活用できるようにしていきます。</p>
<p>IX 法令の遵守 2.7 点</p>	<p>学校運営に必要な規則規定等を整備し、教職員や学生に周知することで安全で安定した教育を実施できるように努力をしました。</p>
<p>X その他 新型コロナウイルス感染症対策 2.7 点</p>	<p>学生の安全対策としては学生保険に加入するほか、定期健康診断、予防接種等健康面のサポートを実施しました。感染症対策としては、病院感染管理委員との相談・連絡を取り合い感染予防に努めました。学校独自の生活のしおりを作成して、学生に指針を示し遵守してもらえよう関わりました。臨地実習前には、PCR 検査を実施し、陰性であることを確認しました。令和3年度も継続して感染予防に取り組めます。</p>